

平成 31 年度 本部事業計画

今後市内公立保育所、幼稚園等のこども園化、公立の民営化や、将来的には少子化に伴う園児の確保等課題も多くあります。また、人材の確保も困難になってきており早い段階での保育士の採用募集を行い内定へとつなげていくことが急務である。また社会福祉法人制度改革に関しては国民に対する説明責任を果たし、特にガバナンスの強化、透明性、財務規律の強化、地域における公益的な取組の実践を昨年度に続いて継続していきます。また地域における公益的な取り組み（社会福祉法 24 条）については柏原市施設連絡会の地域貢献委員会で実施しているところですが、昨年度からは大阪府社会福祉協議会の「しあわせネットワーク」にも加入し生活困窮者の支援を強化しています。また、施設の整備については昨年が続いて 31 年度も内装や設備機器の改修も順次行っています。また昨年度より保育士キャリアアップ研修の受講（処遇改善）がはじまり、2021 年度までの 4 年間で分野別の研修を随時受講していきます。

4 月 1 日（月）	入園式
5 月 26 日（日）	法人監査（平成 30 年度決算）
6 月 1 日（土）	理事会（平成 30 年度決算）
6 月 16 日（日）	定時評議員会（平成 30 年度決算）
10 月 1 日（火）	北阪保育園創立記念日（41 回目）
10 月頃	柏原市指導監査
3 月 14 日（土）	平成 31 年度卒園式
3 月 29 日（日）	理事会（2020 年度予算）

地域貢献事業について（社会福祉法 24 条関係）

重点目標

- ・生活困窮者支援に取り組む

具体的な取り組み

- ・生活困窮者への支援
- ・地区福祉委員会活動への協力
- ・共同募金運動（街頭募金及び法人募金）への協力
- ・柏原ふれあい広場での広報活動
- ・研修会の開催

平成 31 年度 北阪保育園事業計画

保育園はこれまで担ってきた役割や機能を踏まえ、新たな制度における社会の要請や地域のニーズに対応する事が求められます。今年度も「子ども達が楽しく、安心して生活できる保育園にむけて、努めたいと思います。そして保育目標にも掲げている子どもの姿が実現できるように保育を行っていきたくと考えています。

職員の処遇の改善と共に個々の職員の質の向上を研修等として行っていきます。また、31 年度も昨年が続いて内装や設備機器の改修も順次行っていきたく。今年度は調理室、保育室廊下の改装を予定しています。

保育理念

「子どもの人権を尊重し、子どもらしく、たくましく生きる力を身につける」

保育方針

「十分に養護のゆきとどいた環境のもと、
豊かな人間性をもった子どもを育成する」

保育目標

元気で明るくすなおな子
友だちと仲良くのびのびと遊べる子
良く考えなんでも自分でやろうとする子

課題

- 保育士求人に対して募集の人数の減少
- 人材の育成・強化
- 要保護児童・要支援児童・要支援保護者への取り組み及び関係機関との連携
- 地域における公益的な取り組み（社会福祉法24条）大阪府しあわせネットワーク及び柏原市施設連絡協議会の地域貢献委員会における実践

1. 4月入所予定園児及び一時保育

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳	6	6	6	6	6	6	9	9	9	9	9	9	90
1歳	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
2歳	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
3歳	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
4歳	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
5歳	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
合計	97	97	97	97	97	97	100	100	100	100	100	100	1182
一時保育	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
保育士数	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	228

2. 職員の状況（平成31年4月予定）

施設長	主任保育士	保育士	事務員	パート
1	1	19	0	3

3. 保育時間

区 分	延長保育（朝）	保育時間（基本）	延長保育（夕）
平 日	7時30分～	9時～17時	19時00分
土曜日	7時30分～	9時～17時	19時00分

4. 保育日程

7:30	9:20	10:00	11:30	13:30	15:00	15:45	19:00
登園	体操	設定保育	給食	午睡	おやつ	降園	最終

5. 地域子育て支援事業

随時、地域の子育て中の親子を対象に保育園の園庭を開放し育児相談や遊びを行う。

目指す保育園像

- 子どもの及び利用者の人権を理解し実践できる保育園
- 保護者が安心して預けられる保育園
- 美しい保育園
- 暖かい雰囲気のある保育園
- 保護者・地域関係機関・職員が協力しあう保育園
- 地域の子育てに寄与できる保育園

※地域関係機関：玉手中学校区内の教育施設（幼小中）・保育施設（円明・まぶね）・市こども課・東大阪こども家庭センター・発達支援みらい等

目指す保育士像

○主体的に資質向上に取り組む職員＜自己実現志向＞

自己革新や自らの資質の向上に努め、創造的な発想によって主体的に職務に取り組むことができる職員であること。

○新たな課題へのチャレンジ精神と行動力を持った職員＜挑戦改革志向＞

全体の奉仕者としての使命感と情熱を持って職務を遂行することができること。そして、前例踏襲、指示待ちの姿勢ではなく、失敗を恐れず、広い視野で、常に問題意識を持ちながら積極的な企画立案などを行うことができる職員であること。

○利用者の立場に立って考え、創造できる職員＜利用者志向＞

利用者との対話や交流を通じて、各家庭の日常生活の身近な問題をそれぞれの立場になって感じると同時に、その視線で物事を考え、コンセンサスを得ながら仕事を進めることができる職員であること。

○高い専門性とスピード意識を持つ職員<プロ志向>

保育ニーズの多様化や社会情勢の変化に対応するため、必要な専門能力を有する職員であると同時に、「時間はコストである」との認識のもと、迅速かつ柔軟に業務遂行ができる職員であること。

○コスト意識を持ち、効果的に職務を遂行できる職員<経営志向>

コスト意識を持って効果的に職務遂行できる職員であること。

保育の実践

- 保育指針・保育課程の理解・実践 保育計画の作成 PDCA サイクル
P (計画) D (実施) C (評価) A (改善)
- 保育の記録の活用
- 要保護児童 (虐待)・要支援児童 (発達遅延等) の個々の指導計画作成
- 個々職員の資質の向上・・・自覚と研鑽
職員研修⇒園外研修 園内研修の実施 (研修後の伝達 その他)・自己評価
- 地域子育て支援事業
一時保育の実施 園庭開放及び子育て相談⇒園外への発信
- 園だよりの充実
- 個人情報・守秘義務・体罰の禁止
- 小学校との連携 わくわく交流事業への参加
- 地域貢献委員会 (市社会福祉協議会)・要保護児童対策地域協議会での連携
- 安全・衛生 遊具の管理 外遊びのマニュアル 感染症 (インフルエンザ等) 情報 ヒヤリハットの活用

人材育成・研修

①望ましい職場づくりとして、以下の5つを基本とする。

- ①人間関係の良い職場
- ②情報の共有化ができている職場
- ③自由活発な意見が言える職場
- ④仕事の位置づけや方針の共通認識ができている職場

②園内研修

- ・保育士倫理綱領の音読を通して理解を広め、実践へと続ける。(月2回・全保育士)
- ・安全研修 (年2回 全保育士)
- ・人権研修 (年1回以上 管理職・全保育士)
- ・園外研修を受講した職員からの研修報告プレゼン及びふりかえり。随時

③園外研修

- ・ 育児相談員（スマイルサポーター）の養成研修 1名 5年目以上
- ・ 就学前研修について。小学校との連携 年 2回以上 5年目以上
- ・ 経理・労務管理・人材の育成等に関する管理職研修 年 1回以上管理職
- ・ 人権研修 年 1回以上
- ・ 児童虐待防止研修 年 1回以上
- ・ 保育士キャリアアップ研修の受講（処遇改善）